

平成28・29年度
埼玉県教育委員会指定
深谷市教育委員会委嘱
学力向上研究・外国語教科化に係る研究発表会

研究主題

『児童一人一人の学力向上を目指した指導と評価の工夫』
～自分の思いや考えを伝え合う力を育む外国語活動の授業づくりを中心として～



外国語 授業研究会



深西小「ポプラちゃん」 無言清掃



国語科 研究授業会



算数科 授業研究会

平成29年11月17日（金）
深谷市立深谷西小学校



教 育 長 あ い さ つ

深谷市教育委員会教育長 小 柳 光 春

深谷市立深谷西小学校におかれましては、平成28・29年度の2年間にわたり、埼玉県教育委員会の研究指定のもと、深谷市教育委員会の研究委嘱を受け、『児童一人一人の学力向上を目指した指導と評価の工夫～自分の思いや考えを伝え合う力を育む外国語活動の授業づくりを中心として～』を研究主題として研究を進め、その成果をここに発表されますことに、心から敬意を表します。

深谷市教育委員会では、郷土の偉人渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育を推進するために、深谷市教育振興基本計画「立志と忠恕の深谷教育プラン」を策定いたしました。その中では「社会を生き抜く力の育成」を基本目標に掲げ、「未来を切り開くための確かな学力の育成」を図るために、各学校が創意工夫ある教育活動を展開できるよう努めているところです。

深谷西小学校では、自校の特色を活かしながら、外国語活動での指導の仕方をもとに、各教科で豊かな表現力の育成を図るとともに、実態調査をもとに学習環境整備を行うことで学力向上につながる研究に取り組んでいただきました。これらの取組により、児童の自己表現能力が向上し、主体的に学習に取り組もうとする学習意欲を高め、大きな学力向上の成果に結びついたと確信しております。

各校におかれましては、本研究の実践と成果を自校の教育活動の更なる充実につなげていただくことを御期待申し上げます。

結びに、深谷西小学校の研究に際し、御指導、御支援をいただきました先生方に厚く御礼申し上げますとともに、茂木校長先生をはじめ深谷西小学校の先生方の御努力と、様々な面において支えていただきました保護者、地域の皆様の御支援に深く感謝申し上げます、あいさつといたします。

学 校 長 あ い さ つ

深谷市立深谷西小学校長 茂 木 隆 資

本校では、埼玉県教育委員会、深谷市教育委員会のご指導のもと平成28年・29年と「児童一人一人の学力向上を目指した指導と評価の工夫」、副題として「自分の思いや考えを伝え合う力を育む外国語活動の授業づくりを中心に」として、埼玉県学力向上研究校としての取組、深谷市教育委員会委嘱研究さらに深谷市外国語活動教科化に向けての教育研究の取組を融合させて取り組んでまいりました。

急激に進むグローバル化や技術革新は私たちのコミュニケーションのあり方や必要な資質の大きな変化を私たちに求めます。学校教育においてはその変化に対応した新しい学習指導要領が示されました。本校の研究主題はその中核である「主体的、共同的で深い学び」の基底となる「伝え合う力」を単に一つの教科に留まらず育成し、同時に教員の指導力向上を通して学力向上を目指すものであります。このように広がりのある研究に取り組む機会を与えてくださったことに校長として感謝いたします。

おかげさまをもちまして、前向きに弛まず研究を進めた本校職員は「チーム深谷西」としてのまとまりとお互いに支え合う機運を高め、創造性にあふれた取組から単に数字では示せない大きな広がりのある学力の向上への端緒を開き、新しい学習指導要領への備えを進めることができました。本当にありがたいことです。

重ねて、埼玉県教育局義務教育指導課、北部教育事務所、教育長の小柳光春 様をはじめとする深谷市教育委員会、さらに教科指導に造詣の深い他校の先生方に数多くの機会を捉えたご指導をいただいた事に深い感謝の気持ちを表しまして、校長のあいさつとさせていただきます。

チーム深谷西 学力向上に係る学校課題解決プラン

教育目標 **かしこい子 やさしい子 たくましい子**
 ミッション **～夢や志をはぐくむ まごころと思いやりのあふれる学校～**
 真剣に学び、「学校が楽しい」と言える子を育てる

〈現状〉

- 1 表現力・応用力に課題がある。
- 2 家庭学習時間が十分に得られない状況もある。
 H28「家で予習・復習をする児童の割合」4年60% 5年76% 6年57%
- 3 外国語活動では、まだ受け身の場面も多くある。
- 4 全員が、立腰やあいさつがしっかりとできているとはいえない。

	4年	5年	6年	
H28埼玉県 学習状況調査	国語	5-B	6-A 伸び5	7-B 伸び3
	算数	5-C	6-B 伸び5	6-B 伸び2
	国語A	国語B	算数A	算数B
H27(全国100)	95.2	88.4	90.7	84.1
H28(全国100)	96.9	90.1	92.7	85.7
H29(自校採点)	77.54	48.91	84.49	45.75
昨年度の6年生との比較	+8.24	-2.19	+14.09	+5.15

H28全国学力
学習状況調査

〈研究主題〉

児童一人一人の学力向上を目指した指導と評価の工夫
～自分の思いや考えを伝え合う力を育む外国語活動の授業づくりを中心に～

〈到達目標〉

- 1 腰骨を立て、挨拶をし、めあてをもって学習に取り組み、学習規律を確立する。
- 2 外国語活動の授業マネージメントを、国語科や算数科にも広げ、主体的に授業に参加しながら学びあい、論理的な思考力を身に付ける。
- 3 基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- 4 グループ学習やペア学習の進め方を身に付け、楽しく学習を進める。
- 5 深谷西小学校力テストや各種調査の結果の活用を進め、指標の向上を図る。
- 6 家庭学習の習慣化と確立を進める。

〈到達目標にせまるための手立て〉

- 1 腰骨タイムの実施徹底と積極的な授業中の声かけをする。
- 2 児童の学習経験や生活体験を意識したReal Worldな教材の工夫や、短い魅力的な導入、話し合いながら良い解法を導き出させ、習得させる。
- 3 繰り返しの練習で、基礎基本を徹底的に身に付けさせる。
- 4 見通しをもち、根拠を明らかにしながら自分の考えを伝える学習の確立を行う。
- 5 誤答例に着目したり、互いに考えを表現し合ったりする学習活動の充実を図る。
- 6 家庭学習のすすめ等の活用を図り、見とどけを行い、保護者と連携した取り組みを向上させる。

児童の思い
授業改善の視点

「知りたい」
主体的

「伝えたい」
対話的

「わかり合いたい」
深い学び

〈授業研究部〉

仮説
外国語活動の授業マネージメントを土台に、「知りたい」「伝えたい」「わかり合いたい」といった児童の思いを生かし、各教科で豊かな表現力を身に付けさせれば、学力が向上するだろう。

外国語活動チーム

- 「知りたい」
①児童の生活学習経験・興味関心を生かした活動を設定する。
②Will (Can) Do Listを見直し、学習到達目標を明確にする。(高学年)
- 「伝えたい」
③コミュニケーションを自ら図る活動を設定する。
④児童が発表や会話を通したやりとりをする場面を多く設定する。
- 「わかり合いたい」
⑤児童の表現をつなぐ発問をして、よりよい表現に高める。
⑥体験的なコミュニケーション活動を充実させる。

国語科チーム

- 「知りたい」
①見通しと振り返りを位置付けた授業展開を行う。
②考えをまとめるモデルを提示する。
- 「伝えたい」
③ペア対話・全体対話を取り入れ、考えを伝え合う場を設定する。
低 自分の考えを相手に伝え、相手の話を聞く。
中 相手の考えを聞き、違いや似ていることに気付く。
高 自分の考えを広げたり深めたりする。
- ④意図的に根拠や理由を表現させる。
- 「わかり合いたい」
⑤児童の表現をつなぐ発問をして、よりよい表現に高める。
⑥自己への振り返り、対話後の振り返りを行い、活動を言語化させる。

算数科チーム

- 「知りたい」
①見通しと振り返りを位置付けた授業展開を行う。
②考えをまとめるモデルを提示する。
- 「伝えたい」
③自分の考えを他人に伝えることを意識させる。
④意図的に理由を表現させる。
- 「わかり合いたい」
⑤児童の表現をつなぐ発問をして、よりよい表現に高める。
⑥図、式、言葉に関連づける。

〈調査・学習環境部〉

仮説
児童の実態を把握し、適切な学習の場を設け、環境を整備し、総合的に学び支えれば、学力が向上するだろう。

学習環境・掲示チーム

- ①学習環境の整備
・学習プリントコーナーの充実
- ②漢字・語句・計算スキルの習得
- ③学習環境の整備
・階段掲示の作成 (国旗・かけ算九九)
・深谷市スタンダードの掲示物
- ④研究の取り組みを掲示
- ⑤外国語活動のモジュール学習の実施

生活習慣・家庭学習チーム

- ①実態調査
・生活習慣、学習習慣のアンケートの作成と実施、考察
- ②家庭学習の充実
・家庭学習の手引きの作成
・家庭学習ノートの作成
- ③深谷西小学校力テストの実施
- ④生活習慣・学習習慣の改善

児童の実態に合った単元デザインを考え、1時間毎に身に付ける力をはっきりとさせて授業をすすめるよ！



〈授業を支える活動〉

- ①腰骨・挨拶・めあての徹底
- ②暗唱朝会
- ③はぐくみ隊・読書タイム
- ④チャレンジタイムのテスト実施
- ⑤ていねいな言葉遣い
- ⑥正しい鉛筆の持ち方
- ⑦無言清掃
- ⑧縦割り活動

授業研究部

ポイント

外国語活動の取組

- ・単元デザイン（バックワードデザイン） …授業をゴールから考え、最後にどんな力を付けたいのか具体の姿をイメージして授業を組み立てる。
→それぞれの時間のToday's goalを具現化
- ・見通し振り返りを位置付けた授業展開 …1単位時間ごとの目標を明確にし、児童に学習の見通しをもたせるとともに、終末で目標に沿った振り返りをさせる。
- ・学習展開の工夫～表現力を高めるために～ …①意図的な発問とつなぐ発問を取り入れる。資料参照
②相手意識をもつ工夫
③やりとりを増やす工夫
④振り返りカードの工夫

「知りたい」

- ・児童の生活・学習経験、興味関心を生かした活動を設定する。

「伝えたい」

- ・コミュニケーションを自ら図る活動を設定する。
- ・児童が発表ややりとりをする場面を多く設定する。



まとまった会話を聞かせ、どんな会話をしているのか、推測させる。

A: What country do you like?

B: O. K.

I' ll give you some hints.

I like hamburgers.

I like Mr.Obama.

What country is this?

自分の思いや考えを伝え合う

自分の気持ちや考えを伝える場面を設定する。ペアやグループを活用する。

「わかり合いたい」

- ・児童の表現をつなぐ発問をして、よりよい表現に高める。
- ・体験的なコミュニケーション活動を充実させる。



既習事項を使って自分の考えを表現し、相手のことを知る活動を設定する。



外国語活動教科化に向けて

評価の工夫

English Card

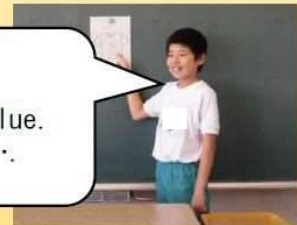
- ・毎時間の自己評価カード
- ・めあてに照らして自分の活動を振り返らせる。

パフォーマンステスト

- ・単元の中で行うテスト。
- ・単元で学習したことを全体の前で発表させる。
- ・ポイントはClear voice, Eye contact, Smile + Gesture Reaction

インタビューテスト

- ・学期末に行うテスト。
- ・学習したことを使って、教師とやりとりをさせる。
- ・評価の規準を合わせて、HRT ALT AET の三人で行う。



評価は児童のモチベーションを上げ、伸びを褒めるために行う

モジュールタイム

- ・教科化に向けて、週一時間+モジュールタイム。
- ・月曜日（30分）木曜日（15分）で行った。
- ・月曜日…児童が会話する場面を増やした。
文字を読んだり、識別したりする活動。
(Hi, Friends Plus活用)



- ・木曜日…文字指導。
4線の上に文字を書く活動を行った。

English Day

- ・毎週木曜日にEnglish Day を行った。
- ・英語を聞く場面、使う場面を多くさせるために行った。



Stand up please.
This month's goal
is ...

英語で朝の会



Good morning!

英語であいさつ

国語科の取組

・指導計画の作成と活用

…各学年で指導する内容を具体化し、6年間の学習の系統性を明らかにした指導計画の作成をする。(話すこと・聞くこと)…資料参照

・国語科の学習内容についての見通し振り返りを位置付けた授業展開

…1単位時間ごとの目標を明確にし、児童に学習の見通しをもたせるとともに、終末で目標に沿った振り返りの工夫をする。

・学習展開の工夫

…考えを伝え合う学習形態の工夫、思考・表現する時間の確保、学習内容が明確になっているノート、メモの取らせ方などの工夫をする。

・答え・根拠・理由

…学習課題に対して児童に答えをもたせ、答えの根拠を教材文等に求め理由付けをさせる。

「知りたい」

見通しと振り返りを位置付けた授業展開を行う。



「伝えたい」

- ・ペア対話や全体対話を取り入れ、考えを伝え合う。
- 低 自分の考えを相手に伝え、相手の話を聞く。
- 中 相手の考えを聞き、違いや似ていることに気付く。
- 高 自分の考えを広げたり深めたりする



課題を明確にし、考えをまとめるモデルを提示する。
◇1年生「りすのわすれもの」
・並行読書に取り組む

意図的に根拠や理由を表現させる
◇3年生「日本語のひびきにふれよう」
・話し合いシートの活用



自分の思いや考えを伝え合う

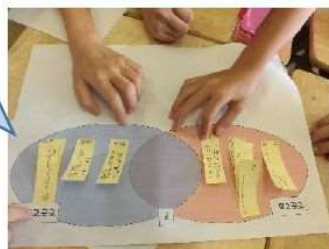
対話のポイント

- 1 はじめと終わりにあいさつをしましょう。
- 2 相手に聞こえるようにはっきりと話しましょう。
- 3 相手と交互に話しましょう。
- 4 相手の話をさいごまで聞きましょう。
- 5 相手の話になぜいたり、あいづちをうったりしましょう。
- 6 (低) 話題からそれないで話をしましょう。
- 7 (中) 相手の話を聞いて、もっと知りたいことはたずねましょう。
- 8 (高) 相手が何を言いたいのか、考えながら聞きましょう。
- 9 (高) 相手の話を聞いて、思ったことがあったら伝えましょう。
- 10 明るくにこやかに、気持ちよく対話をしましょう。

「わかり合いたい」

児童の表現をつなぐ発問をしてよりよい表現に高める。

自己への振り返り、対話後の振り返りを行い、活動を言語化させる。
◇6年生「未来の自動車—パネルディスカッションをしよう」
・シンキングツールの活用



ポイント

算数科の取組

・単元デザイン・ノート指導案の作成

単元を通して身につけさせる力。単元のゴールを設定してから1時間の授業で教えること・考えさせることを整理する。

・見通し振り返りを位置付けた授業展開

課題を明確化にし、まとめと正対させることで、児童が見通しをもって学習に取り組み、何を学んだのかのふりかえりができるようにする。

・学習展開の工夫とグッドモデルの活用 下図参照



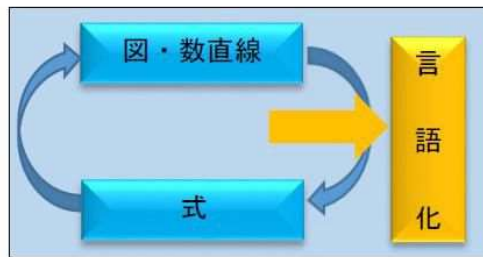
「知りたい」

- ・引きつける問題提示
- ・見通しがもてる課題



自分の思いや
考えを伝え合う

「わかり合いたい」



「伝えたい」

- ・グッドモデルの活用
- ・式や図を言語化させて説明し合う。



導入

自力解決

発表・練り上げ

グッド
モデル

活用

まとめ

ふりか
えり

0 5 10 15 20 25 30 35 40 45

教師主体

児童主体
教師の支援

○授業改善のポイント

- ポイント1 導入は5分以内
- ポイント2 集中して自力解決に取り組ませる
- ポイント3 発表を一方通行にしない
- ポイント4 クラスでグッドモデルを作る
- ポイント5 グッドモデルを活用し定着させる
- ポイント6 ふりかえりの時間の確保
- ポイント7 全授業がこの授業スタイルでなくてよい



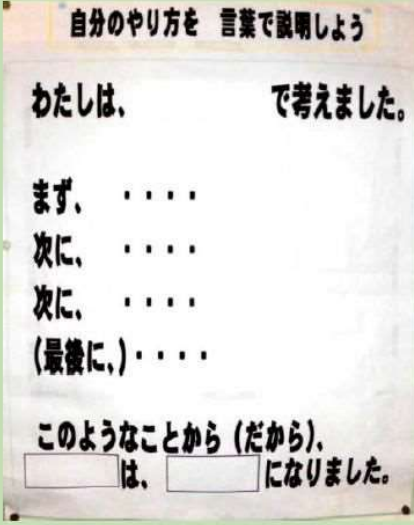
話し合いながらグッドモデルを児童と共に作っていく。



調査・学習環境部

学習環境の充実

発表の仕方や振り返りに効果的な掲示を行い、授業や復習に活用させる。



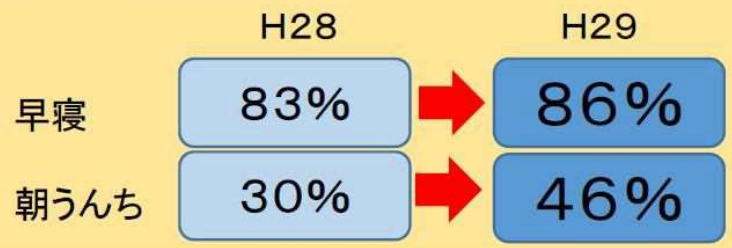
学習プリントコーナー

国語や算数を中心に学習プリントコーナーを整備し、授業や家庭学習に活用させる。



生活リズム調査

毎週月曜日「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」調べを実施し、保健委員会の児童が集計する。



研究成果

腰骨を立てて学習に取り組もうとしている。

17%
増加



28年度 29年度

考えを言葉や図で表そうとしている。

18.2%
増加



28年度 29年度

自分の意見を伝えようとしている。

18.3%
増加



28年度 29年度

学んだ言葉を使ってまとめ、感想を書こうとしている。

2.1%
増加



28年度 29年度

深谷西学カテストより

国語 観点「話す・聞く」

平成28年度
54.4%

平成29年度
65.1%

+10.7%

算数 観点「考え方」

平成28年度
58.5%

平成28年度
65.0%

+6.5%

授業開始前に「腰骨を立てる時間」を設けるとともに、国語科や算数科でも外国語活動と同じように単元の見通しをもたせることで、**学習内容 (Today's Goal)**が明確になり、「**自分の考えを表現しようとする**」児童が増加した。

知りたい



授業改善

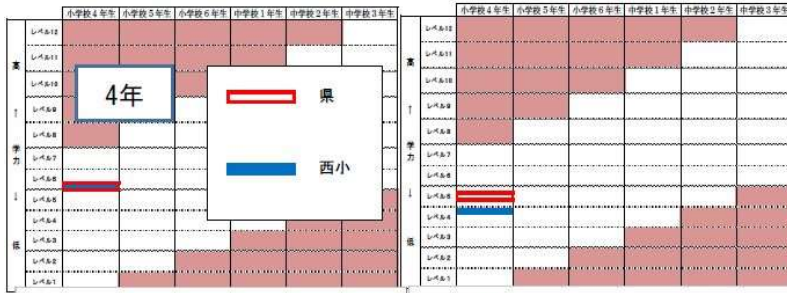
児童の表現をつなぐ発問を行ったり、グッドモデルを活用した授業を展開したりしたことにより、国語科「**話す・聞く**」、算数科「**考え方**」の観点が向上した。

伝えたい

わかりたい

「対話のポイント」を提示したり、外国語活動で培った**忠恕の心(まごごろと思いやりの心)**生かしたかした話し合いを行ったりしたことにより「**自分の考えを伝えよう**」とする児童が増加した。

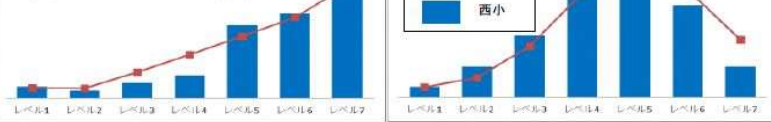
県学力調査の結果



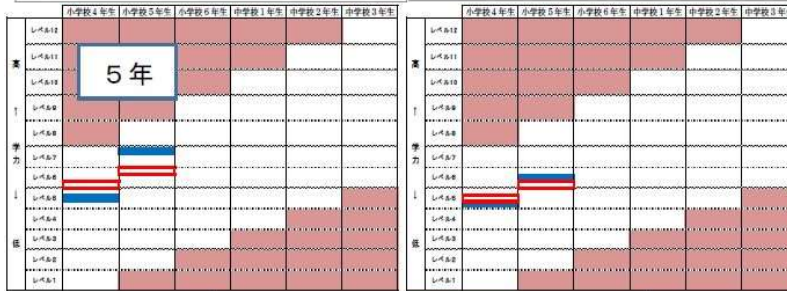
4年 国語
※上位レベル2以上の割合…62.2% (レベル6, 7)
※下位レベル3以下の割合…10.0% (レベル1, 2, 3)

4年 算数
※上位レベル2以上の割合…26.7% (レベル6, 7)
※下位レベル3以下の割合…22.2% (レベル1, 2, 3)

学力レベルのヒストグラム



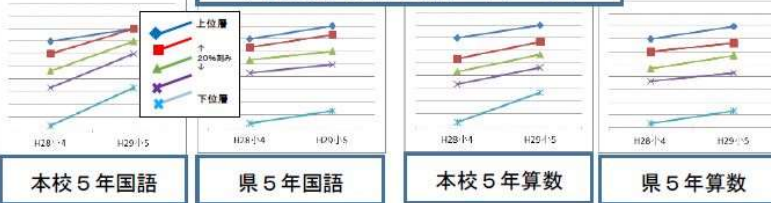
国語は、上位層の割合が多く、
下位層が少ない。
算数は、中位層の割合が多い。



5年 国語
※上位レベル2以上の割合…69.9% (レベル7, 8)
※下位レベル3以下の割合…10.0% (レベル2, 3, 4)

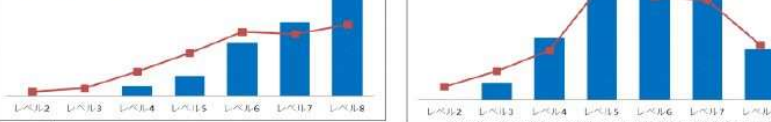
5年 算数
※上位レベル2以上の割合…26.7% (レベル7, 8)
※下位レベル3以下の割合…22.2% (レベル2, 3, 4)

学力の伸びの状況 4年→5年

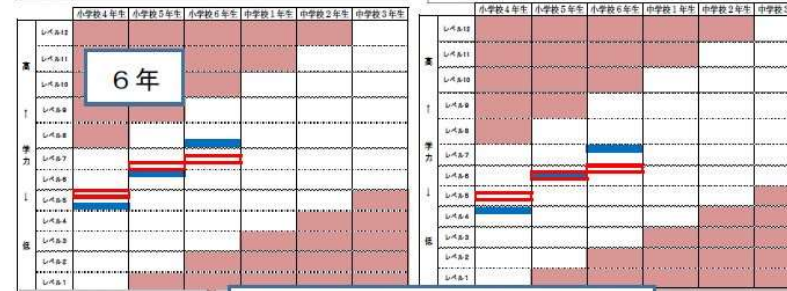


国語は、下位層が大きく伸び、
全体的に著しく伸びている。
算数も伸びている。

学力レベルのヒストグラム



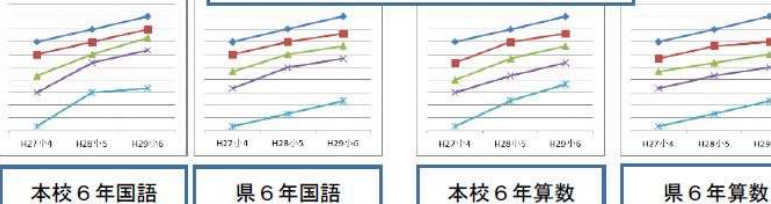
	国語が伸びた児童の割合	算数が伸びた児童の割合	両方伸びた児童の割合	国語伸び	算数伸び
現5年	97.6%	84.3%	83.1%	7	4



6年 国語
※上位レベル2以上の割合…53.8% (レベル8, 9)
※下位レベル3以下の割合…8.8% (レベル3, 4, 5)

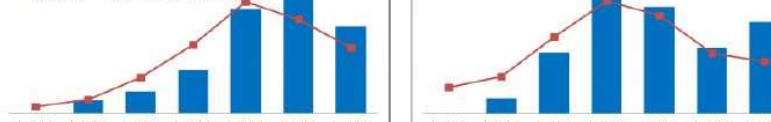
6年 算数
※上位レベル2以上の割合…34.1% (レベル8, 9)
※下位レベル3以下の割合…16.5% (レベル3, 4, 5)

学力の伸びの状況 5年→6年



国語は、下位層が大きく伸び、
全体的に伸びている。
算数も伸びている。

学力レベルのヒストグラム



	国語が伸びた児童の割合	算数が伸びた児童の割合	両方伸びた児童の割合	国語伸び	算数伸び
現6年	85.7%	75.8%	64.8%	4	4

成果と課題

全国学力学習状況調査の結果

	国語A	国語B	算数A	算数B
H27(全国100)	95.2%	88.4%	90.7%	84.1%
H28(全国100)	96.9%	90.1%	92.7%	85.7%
H29(全国100)	104.3%	107%	111.8%	113.3%

埼玉県学力学習状況調査の結果

	4年	5年	6年		4年	5年	6年
国語	6-C	7-A 伸び7	8-C 伸び4	国語	5-B	6-A 伸び5	7-B 伸び3
算数	4-A	6-B 伸び4	7-A 伸び4	算数	5-C	6-B 伸び5	6-B 伸び2

成果

外国語

- ・「知りたい・伝えたい・わかり合いたい」といった児童の思いを生かした授業を行い、学力向上をねらいとした取組を行うことができた。
- ・Today's Goalをはっきりさせたことで、児童の身に付けさせたい具体的な姿が見えた。
- ・学習過程の工夫、会話による自己表現の充実により、子どもたちのモチベーションが上がった。

国語

- ・外国語活動と同じように単元の見直しをもたせることで、この時間は何が分かればよいのか、単元の最後には何ができればよいのか明確になり、児童がゴールに向かって意欲的に取り組めた。
- ・朝のチャレンジタイムでコバトン問題や「話すこと・聞くこと」の問題に取り組んだことにより、深西学力テストでは聞き取りメモの向上などがあった。（昨年度比10%の伸び）
- ・学習課題に対して児童に答えをもたせ、答えの根拠を教材文等に求め理由付けをさせたあと、ペア学習・グループ学習で考えを伝え合う活動に取り組んだ。深西学力テストで国語科全体の伸びにつながった。

算数

- ・児童と共にグッドモデルをつくっていくことで、自分の考えを自分の言葉で表現できる児童が増えた。
- ・相手の考え方に耳を傾け、自分の考えとの共通点、相違点を意識しながら聞く姿勢が身についてきた。
- ・チャレンジタイム（業前活動）を通してコバトン問題に取り組むことで基礎的な知識が定着した。
- ・練習問題（活用）を毎時間取り入れたことで学力テストでの思考力の向上が見られた
- ・ゴール（単元で身につけさせたい力）を意識し、逆向き設計で単元デザインをすることで、1時間の授業で考えること、身に付けることが明確な授業が実践されるようになった。

課題

外国語

- ・「読むこと」「書くこと」の活動でどのように興味を持たせていくか、児童の興味関心を引くための教材づくりが求められる。
- ・児童の心が動くような場面は設定できるが、それをReal Worldにつなげるには、すべての授業では難しい。

国語

- ・「知りたい」の場面で、児童が知りたくなるような資料や具体物を使うなどの工夫をして、学年ごとに資料の蓄積をする。
- ・考え方を「伝え合う」場での交流の仕方や話す内容などの質の向上が更に見られるように、学習形態を工夫したい。
- ・「読むこと」「書くこと」の学習においても「伝え合う」場面の内容の焦点化が必要である。

算数

- ・考え方、知識、技能、3観点のバランスを意識した単元デザインが必要である。特に技能の習得には課題が見られた。
- ・「伝えたい」の場面では、グッドモデルをクラスで作り上げるための「つなぐ発問」を工夫し、児童への問いかけ、話のつなぎ方についてさらに研究する必要がある。



学力向上のポイントは、授業改善！

ご指導いただいた先生方

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課学力向上推進担当・学力調査担当指導主事	池田 耕司 様
埼玉県教育局北部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当主席指導主事	松本 誠 様
埼玉県教育局北部教育事務所学力向上推進担当指導主事	大澤 聡 様
埼玉県教育局北部教育事務所教育支援担当指導主事	中原 裕 様
埼玉県教育局北部教育事務所学力向上推進担当指導主事	小久保 俊之 様
深谷市教育委員会教育長	小柳 光春 様
深谷市教育委員会主幹兼課長補佐兼指導主事	染谷 明信 様
深谷市教育委員会課長補佐兼指導主事	柴崎 勇二 様
同	大沢 裕 様
深谷市教育研究所専門員	関口 良子 様
同	篠崎 正明 様
深谷市立上柴東小学校教頭	常木 誠司 様
埼玉大学教育学部附属小学校教諭	笠原 雅広 様

研究に携わった職員

〈平成29年度〉

茂木 隆資	小谷野聖二	益田 修	秋元 孝文	栗田 顕	谷口久美子	太田 啓子
小川 佳介	金井 元美	返町 未来	戸田 翔斗	矢板橋克基	野村 友子	佐藤 秀子
植原亜莉紗	田沼 和美	荻原 実	高木 栄子	直井 麻美	杉田小百合	古屋美恵子
住吉 理子	小野寺 典	大澤 正寿	麥倉 千恵	石川 真衣	神山 弘江	田近 純子
小林 佳美	吉村 浩未	田嶋 優子	浅見 美恵	佐藤 貢	内田 芳二	滝田 恭子
田所 綾子	柴崎 名美	リザ・マリア・佐藤			シヨーン・ウオン	
坂下 徳子	柳 和美	渡部美由紀	中野 彩花	木村 朱理		

〈平成28年度〉

梅澤 修	中島 友子	櫻澤 麻未	今井 恵子	山田 明美	瓜生 大祐	荻原 美和
新井 優希	高木 裕介	林 敦子	大井さやか	松嶋美亜沙	水野由美子	

住所	深谷市立深谷西小学校 埼玉県深谷市栄町14-18
☎	048-571-0250
Fax	048-571-7064
E-mail	fukanishi-e@fukanishi-e.ed.jp
URL	http://www.fukayanishi-e.ed.jp